

写真1　紀尾井坂

近隣史跡の紹介

紀尾井町の名前の由来は、坂をはさんで紀伊和歌山藩徳川家、尾張名古屋藩徳川家、近江彦根藩井伊家の屋敷が接していたことにより、三家よりそれぞれ一字ずつを取って名付けられました。

また、その坂は紀尾井坂（写真1）と呼ばれています。

紀尾井坂より南東に下った低地は、清水が湧き出ることから清水谷（しみずだに）と呼ばれており、紀尾井坂には清水谷坂の別名もあります。

明治11年に清水谷前の坂のあたりで、時の内務卿大久保利通公が暗殺（紀尾井坂の変）され、現場近くには大久保利通公哀悼碑（写真2）が建てられました。

のちに清水谷公園となり、緑豊かな都会のオアシスとなっています。

参考文献
千代田区（平成24年３月）「史跡と観光」
千代田区教育委員会資料



写真2　大久保利通公哀悼碑

